



強靱な県土づくりを着実に進め  
県民に安全・安心な暮らしを

宮城県民が安全・安心な生活を送れるよう、河川の整備や維持管理を行っています。土木行政と言っても、業務の内容はとても多様です。計画段階から設計、施工、工事完成まで、各フェーズで様々な分野の方と関わることができ、地元の方から意見・感想をいただけることも多いので、やりがいにつながっています。

【総合土木】  
土木部 河川課

新迫 萌 (平成28年度採用)

私のチャレンジポイント

土木の専門知識は、業務を通して日々勉強が必要であると感じています。現場で様々なフェーズを経験し、今後も道路や河川など、幅広い分野に関わりながら知識を深めていきたいです。



引き取った犬・猫の殺処分を減らし  
尊い命を未来へつなぐ

動物の愛護と適正飼養についての知識の普及・啓発、犬や猫の管理・譲渡・処分、負傷動物の治療などが主な業務です。動物ふれあい教室や譲渡事業などで県民と直接関わることも多いです。やりがいは、殺処分を減らし、新しい飼い主さんに命をつないでいくこと。一筋縄ではいきませんが、日々全力で取り組んでいます。

【獣医師】  
動物愛護センター

西村 英之 (平成25年度採用)

私のチャレンジポイント

これまで、生活衛生や食肉検査、動物愛護などの分野に関わってきました。今後は食品衛生や廃棄物行政など、獣医師として携わることができる未経験分野を開拓し、スキルアップにつなげたいです。



信頼関係を大切に  
業務のICT化を推進

市町村や民間事業者が行う森林経営管理の支援等を目的に運用する森林GISシステムを担当しています。森林に関する様々な情報をシステムに搭載するとともに、今後の利用方法等の検討も行っています。関係機関の方とともに課題解決に取り組むことを通じて、業務の幅が広がっていくところに面白さを感じています。

【林業】  
水産林政部 林業振興課

野田 隆紀 (平成26年度採用)

私のチャレンジポイント

今後、行政とIT分野との連携は必須だと感じています。現在利用しているシステムやプログラムの知識を生かすとともに、更に知識を身につけ、業務の情報化や円滑化を進めていきたいです。



組織の立ち上げに関わり  
福祉の分野で力を発揮

令和元年7月に開設された発達障害者支援センターで、発達障害児の支援者支援に携わっています。主に研修の企画・実施、困難ケースへの技術支援、家族支援事業の促進など、地域の支援力向上を目指して取り組んでいます。新たな組織の立ち上げという貴重な経験を通じて、様々なことをコーディネートする力が身についたと思います。

【福祉】  
子ども総合センター

阿部 幸恵 (平成25年度採用※)

私のチャレンジポイント

介護や保育現場など、至るところで専門職が不足している状況です。福祉の現場において専門職の養成や実務者のスキルアップを目的とした人材育成の企画に取り組みたいと考えています。

※福祉総合職で採用